

全厚生連 労働組合連合会
 〒110- 東京都台東区入谷
 0013 1-9-5
 TEL 03-3874-3591
 FAX 03-3874-3593
 発行日 毎月20日 定価 30円
<https://www.zenkouro.org/>

全厚労ニュース

コロナ対応で現場は疲弊 収益減にも不安…!

4月15日、日本全国に拡大された「緊急事態宣言」は、5月15日からは感染者数の多い東京都や北海道など8都道府県で継続。全国の医療機関ではコロナ対応のために医療従事者が疲弊しているだけでなく、病床確保や「受診抑制」等により、収入減が続いている。国や自治体からの財政支援なくして医療は守れない。いまこそ「医療・社会保障を守れ！」の声を上げよう!



県医労連の要請

- ▶ マスク・消毒液などの確保・提供
- ▶ PCR検査センターの設置
- ▶ 財政支援

秋田県医労連の県要請を報道した秋田朝日放送(5月1日)より

過酷さ増す医療現場

新型コロナウイルスの感染は都市部を中心に広がり、厚生連病院での患者受け入れは、まだ少ない部類にありますが、最初に感染爆発が起きた北海道では、現在第二波の拡大が起っています。また全国どここの病院でも、マスク・防護具の資材不足のみならず、業務上感染の不安や差別などの風評被害、不要不急の治療延期や入院・外来患者減、検診の中止・延期などで収入減とともに夏の一時金への不安の声が上がっています。

医療費抑制政策の誤り

この間、日本では1980年代後半からの「医療費増大の崩壊をもたらす」という考えの下、国公立の病院統廃合が相次ぎ、その流れは、厚生連などの公的病院にも向けられてきました。

また公衆予防衛生のための保健所も94年の法改正で、当時、全国に847ヶ所あった施設は、現在、469ヶ所へと半減。感染症病床は、98年の9060床から、1869床まで大幅に減少させられてきました。しかもそのほとんどを担っているのが国公立・公的病院です。緊急時の医療を担う公立公的病院の統廃合路線は抜本的に見直すべきとの声があちこちで上がっています。

税金は私たちが生きるために

そもそも税金は国民が汗

水流して働いて得た所得や、買い物などの消費活動で生まれたものです。法人税もその企業で働く労働者ももちろん下請けや消費者を通じての経済で生み出された富の一部です。その税金の使

い道が全く間違っています。466億円を予算計上したアベノマスクは不良品ばかりで、市中に不織布マスクが溢れる中でいまだ届かないままです。10万円給付も休業のための各種助成も遅々として進んでいません。

全国の病院では、コロナ対応で病床確保や施設整備、人員配置を行っています。それに見合う収入はありません。外出自粛や感染忌避をして受診抑制が進み、入院・外来患者等も減り、経営状況への不安が広がっています。

声を上げて 政治を変える

四病協(民間病院を中心とした経営団体)や全日本民医連などの医療経営団体は、医療を継続するための補助金や前年度実績に応じ

た診療報酬の概算支払いなどを求めています。同様に労働組合でも政府・自治体へ緊急要請を行っています。秋田、福島、長野など県医労連等による県要請やマスコミに向けた記者会見が行われています。徳島では、働くもののいのちと健康を守る徳島県センター(いの健康徳島)、徳島労連、県医労連の3団体で、県知事要請を行い、担当課長から「コロナ事態を受けて、感染症拡大や災害発生時等の危機事象における公立公的病院の役割について、これまでの議論を土台から見直すよう国に対して強く求めていきたい」との発言も引き出しました。

新型コロナウイルスの遅れの一方で、検察庁法や種痘法など、なせいま急いでやる必要があるのか疑問を持つような法案や改悪となるものを急ごうとしています。SNSでの「#検察庁法改正案に抗議します」の関連ハッシュタグは、瞬く間に1000万件を越える「世論」になり、国会会での採決は見送りされるまでに発展しました。自分たちに来る「声の上げ方」で、命を大切に政治を変えることは出来ます。困難な時だからこそ、諦めずに声を上げましょう。

♥ポテツカー作りしました(3面)

無理せず君も休んでね!

僕も来週休むんで…

「健康管理休暇」をみんなの権利に



困ったときは、労働組合へご相談を

6~7月は母性保護月間

全厚労女性委員会

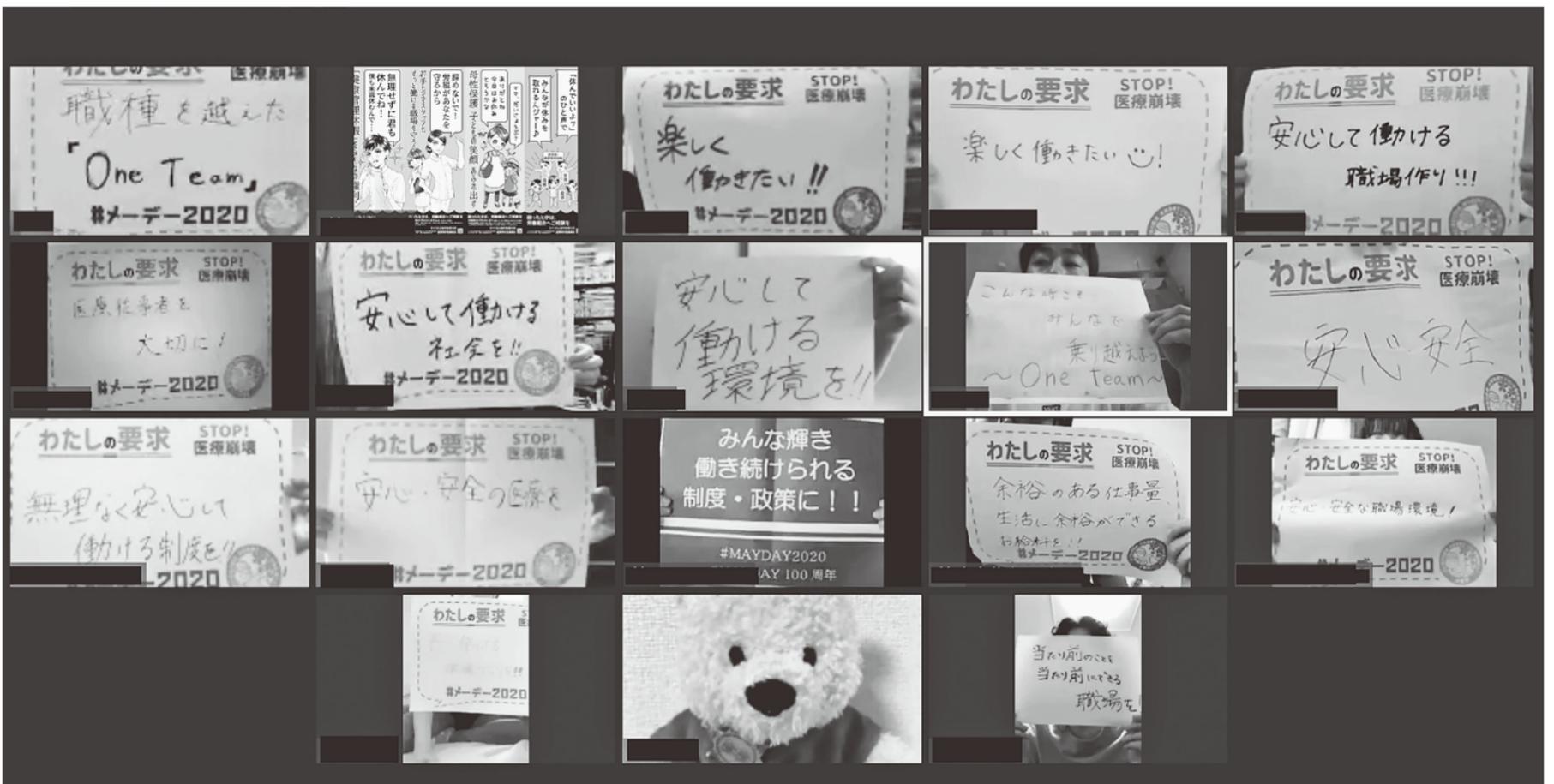
政府の対策はいのち優先へ

危険と隣り合わせで業務を行っていることに対して特別手当の要求が高まっています。看護協会も国による看護職への直接の危険手当支給を要請しています。

危険と向き合って働くものへの補償を

危険と隣り合わせで業務を行っていることに対して特別手当の要求が高まっています。看護協会も国による看護職への直接の危険手当支給を要請しています。

メイデー、世界大会inNY(2面) オンライン集会、SNSで拡散



全厚労青年委員会も若者の要求アピール大作戦inメーデーに参加しました

#メーデー2020で検索!!

5月1日、第91回メーデーが全国各地で開かれました。日本初開催から100年を迎える節目の年は、コロナ禍での開催となりましたが、ネット配信やSNS活用、スタンディングなど様々な形で創意工夫を凝らし行われました。中央メーデー

式典は全労連会館よりネットでLIVE配信されました。

またコロナウイルス感染症拡大で、例年のようなデモ行進は中止されましたが、「#メーデー2020 ツイッター・デモ」と称して、SNSを活用したツイッター・デモが行われました。これは、5月1日18時から21時の間に集中して「#メーデー2020」と「#補償で防ごう感染拡大」のハッシュタグをつけツイートを投稿する企画で、SNSでのデモという新しい形での取り組みとなりました。

「メーデーをきっかけに、青年の要求を全国的に集約し、SNSなどで発信する」ことを目的に行われた、「若者の要求アピール大作戦inメーデー」では、Facebook、Twitter、Instagramに、職場・地域などでプラカードに青年の要

世界累計1,051万署名へと到達

大きく広がる核兵器廃絶運動

4月25日、オンライン原水爆禁止世界大会ニューヨークが開催されました。「核兵器廃絶、気候危機の阻止と反転、社会的経済的正義のために」をテーマにアジア、ヨーロッパ、北米、中南米から1,000人が参加しました。

世界大会は、パネル1とパネル2の二部構成で開催され、パネル1「核兵器、廃絶のためのたたかいと現局面」では5人、パネル2「行動と優先課題」では4人のパネリス

トからそれぞれの国・団体の運動や情勢について報告されました。

その後、田中照巳氏(日本原水爆被害者団体協議会・代表委員)から「ヒバクシャ国際署名」運動の現状報告があり、昨年の9月末で累計1,051万余人分の署名が寄せられ、第75回国連総会第1委員会議長に目録を手渡したことが、またこれまでも毎年国連総会の第1委員会、NPT再検討会議準備委員会でも、累計数を議長に手渡し、国連

とNGOの運動が相互に励ましあってきた経緯が述べられました。

大会の最後に、国連軍縮担当上級代表の中満泉氏から「毎回、署名を受け取るたびに、それは私のエネルギー源になっています。みなさん方の努力は政策立案者たちに、核兵器のいかなる使用も人間に未曾有の被害をもたらすことを教えてくれます。それゆえ私は、この署名をした一人ひとりに感謝を申し上げ、私たち共通の目標である核兵器のない世界を達成するために、全力を尽くすことをお誓いするものと連帯の言葉が送られました。

20原水禁大会はオンライン開催

日本原水協は、広島と長崎への原爆投下から75年目をあたる8月6日と9日を中心に、「被爆者とともに、核兵器のない平和で公正な世界を一人

求や励ましの声を書いて撮影した写真をアップする取り組みが行われました

(写真上)。普段からSNSを活用されている方は是非投稿、検索してみてください。この取り組みは5月29日まで継続して行われます。

※第91回各地の取り組み動画はYouTube「メーデー見える化チャンネル」を検索

類と地球の未来のために」をテーマに原水爆禁止2020年世界大会をオンラインで開催することを決定。新型コロナウイルス(COVID-19)の世界的な感染拡大とたちむかいながら、原水爆禁止運動の役割をどう果たすのか、議論をかさね、多くの人々が集えない困難な状況のもとでも、被爆者とともに、あらゆる手段をつくして核兵器廃絶を世界に訴えるとのこと。皆さんもぜひオンライン世界大会に参加し、核兵器廃絶運動に参加しましょう。

※詳細は原水爆禁止日本協議会HP

(<http://www.antatom.org/index.html>)をご確認ください。

「言いたい劇場」 小菅りや子



職場のみんなに知ってほしい ポテツカーでアピール

6～7月の「母性保護月間」にむけて女性委員会では、ステッカーのように細長いサイズのポスター、通称「ポテツカー」を4種類作成しました。職場で見かけた際はぜひ足をとめて見てください。

妊婦のコロナ 感染防止へ

今回、女性委員会で議論を重ねて作成に至ったポテツカーは現在のコロナ禍の中で、全ての職員に向け「困ったときには労働組合へご相談を」してもらおうように訴える物としました。また妊娠中の職員がコロナ感染の恐れのある業務に就くことのないよう啓発を進めています。

厚労省は5月7日に、「新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた妊娠中の医師、看護師等への配慮について」の通知を発出、肺炎重症化のリスクが高い新型コロナウイルス感染を防止するため、妊娠中の医師、看護師等の休暇取得や代替要員確保を医療機関に要請しています。なおこの際の休暇は、人員配置基準の上で特例的に勤務しているものとして取り扱うこととされています。

「生理休暇」
知らせる「う」がら
女性委員会では昨年度1年間での生理休暇の取得状況調査も行いました。全事業所からの回答は得られませんでした。回答を出してもらった所では取得人数0人など厳しい状況が分かりました。「生理休暇」とは、「使用者は生理日の就業が著しく困難な女性が休暇を請求したときは、その者を生理日に就業させてはならない(労働基準法第68条)」と定めたものです。女性の多い医療職場で、女性が自身の健康に配慮できるような母性保護月間中にポテツカー掲示や声掛けなどで周知をすすめることにも、生理休暇取得の妨げとならないよう、一時金(賞与)査定等に関わらない「特別有給休暇」としての位置づけをすすめることも必要です。

困ったときは、労働組合へご相談を
労働基準法で守られています(第68条、30万円以下の罰金)
本報特別の取組。企業に就業が著しく困難な女性の就業を請求した時は、使用者はその就業を拒否してはなりません。
6～7月は母性保護月間
全厚労女性委員会

求したときは、その者を生理日に就業させてはならない(労働基準法第68条)と定めたものです。女性の多い医療職場で、女性が自身の健康に配慮できるような母性保護月間中にポテツカー掲示や声掛けなどで周知をすすめることにも、生理休暇取得の妨げとならないよう、一時金(賞与)査定等に関わらない「特別有給休暇」としての位置づけをすすめることも必要です。

安心して働き
続けられる職場を
母性保護月間では女性職員の健康維持のみならず、全ての職員が体調不良を抱えて働くことのないよう、特別有給休暇での「健康管理休暇」の創設と取得を進めています。「健康管理休暇」とは、女性職員の生理休暇だけでなく、男性や更年期障害にも適用されるような年代・性別を問わず健康管理を目的とした休暇のことです。

3密避けて、密な会議を 女性委員会をWEBで

4月に行った第2回女性委員会はWEB上で開催。委員会初の試みではありましたが、意見も活発に出され、充実した会議となりました。実際に対面で一堂に会することは今後も厳しい状況にあります。全厚労専門部の運動が発展するよう当面、WEBでも密に進めていきたいと思います。



困ったときは、労働組合へご相談を
労働基準法で守られています(第68条、6万円以下の罰金)
本報特別の取組。企業に就業が著しく困難な女性の就業を請求した時は、使用者はその就業を拒否してはなりません。
6～7月は母性保護月間
全厚労女性委員会

頑張る仲間 各県この人

各県・現場で運動に、趣味に、仕事に頑張る人々を紹介するコーナーです。
第152回は広島と三重にお願いしました。



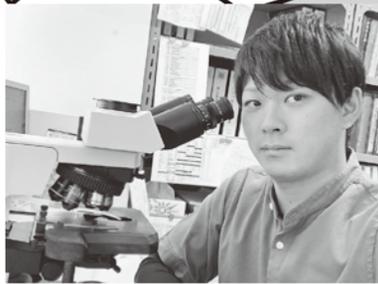
広島 金本亜矢子さん

今回は、広厚労の初の在籍専従新人の、金本亜矢子さんを紹介します。

新人とはいえ、金本さんは、今年の3月まで尾道総合病院で看護師として主任として、バリバリ働かれておられました。金本主任に相談したら間違いなし！「うんうん」としっかり想いをきいてもらえるだけではなく、「こういう風にしたら？」「私ならこうする！」「ダメだよ！」の指導も適切で、指導担当としても長く歴任されていました。

金本さんは、バレーを中学校からされており、現在も現役です。JTサンダース広島などのバレーの試合観戦も度々行かれていた程のバレーバカです。ウィンタースポーツもお好きなアクティブ女子ですが、なんと、高校時代には簿記2級検定も受けていた！そんな数々の才のある金本さんを、専従にスカウトされたのは、広厚労の若本執行委員長です。

笑顔溢れる大型新人、金本亜矢子さんを皆様、よろしくお祈りします。



三重 山中佑太さん

三厚労 青年部部長の山中佑太です。

三重県厚生連鈴鹿中央総合病院で検査技師をしています。検査技師は認定資格が多く、日々勉強で忙しい毎日を送っていますが、休日にはしっかり息抜きをして頑張っています。最近では山登りにハマっています。まだ近場の山しか登っていませんが、いつかは上級者向けの山も登ってみたいと思っています！近頃は新型コロナウイルスの影響で、組合活動も自粛せざるを得ない状況です。委員のみんなに会えなかったり、行事が中止になったことは非常に寂しいですが、K'sを含め今後の楽しみの為に今は我慢ですね！

引き続き今後も仕事に組合、遊びすべて全力で頑張っていきたいと思えます！

当選者は4・9倍(クロスワード・聞かせて、読者の声、計10名当選)でした。

ザ★クロスワード

出題▶モロゾミ勝

1	2	3	4	5	6
7		8		9	
	10		11		
12	13	14	15		
16	17		18	19	
20		21	22		
23	24		25		
26			27		

答 A B C D E F

- 1 タテのカギ
- 2 朝咲くラッパ型の花
- 3 直……。第六……
- 4 俳優が演技する動作
- 5 日本工業規格。……
- 6 マーク
- 7 アイスクリームに添えて出されます
- 8 国会。衆……。参……
- 9 山から落ちてくる石
- 10 ヒヨコのことで
- 11 今年6月10日
- 12 人の心を引きつける力
- 13 宣伝用の紙。……配り
- 14 頭の上。……注意
- 15 新型……。ウイルス禍
- 16 バンビは……。の名
- 17 首都はバンコク
- 18 天空・姫路といえは？
- 19
- 20
- 21
- 22
- 23
- 24
- 25
- 26
- 27

読者の声

いつも楽しく読んでいます。コロナウイルスの影響で大変な病院もあると思います。苦しい状況ですが何とかがんばって乗り越えてもらいたいです。(福島)

各県連、事態の大きさは異なりますが、今こそ医療人として耐え忍ぶべき期間なのかもしれません。我々労組が、組合員のために何が出来るのか……(KS)

春闘の時期になりましたが、新型コロナが大流行しています。

新しい状況ですが、春闘にも新型コロナにも打ち勝ちたいですね。(富山)

新型コロナの影響で、医療現場が注目されています。診療報酬がプラス改定されれば実りある春闘を迎えられるのですが……(KU)

医療現場での厳しい状況が続く中、全国で身近に情報共有できる場が全厚労ニュースだと思っています。皆さんの励ましメッセージや便利なアイデア、職場での工夫など、情報交換が出来たらいいなと思います。(三重)

取り組みを掲載することにより、他県への刺激になります。また共有し、さらに活発な活動につながると思っています。まさに「知って・知らせて・組織する」ですね。(HR)

乗り越え終息したら思いきり活動しましょう!!!

聞かせて・教えて!のコーナー

☆3月号で募集した「聞かせて・教えて」の結果発表☆

質問1 3月号で一番興味があった面は？
1面が26票で第1位!!「今すぐ最優先」の病院支援を国・自治体に訴えましょう。次に4面が7票で第2位となりました。

質問2 よく使うSNSは？
32票でラインが圧倒的でした。次いでインスタ、ツイッター、FBの順で6票、5票、4票でした。世界的にはアクティブユーザー、シェア率共にFBが圧倒的に多いそうです。

さて、今回の「聞かせて・教えて!」は

質問1 5月号で一番興味があった面は？
A=1面 B=2面 C=3面 D=4面

質問2 看護協会にこれが聞きたい!!と思うことは？
質問2の選択肢ではなく、読者の声/意見・要望欄に【看護協会への質問】とつけて、記載してください。

右のQRコードから全厚労ホームページを開き、「資料・データ」のページから過去の全厚労ニュースを見る事が出来ます。

全厚労HPはこちら! 全厚労HPはこちら!

読者の声、聞かせて・教えて、クロスワードはすべてQRコードよりスマホから投稿できます。氏名・住所・希望景品(図書カード又はクオカード)は必須事項です。質問1・2は、聞かせて・教えてのコーナー掲載号で使用します。

教宣部のつづき

労働組合の力! 私8年前までたの組合員でした。職場で業務改善について提案しても、なかなか取り上げてもらえず何もできませんでした。8年前にいきなり経営側になり経営側と直接話せるようになり、今まで聞いてもらえなかった業務改善がスタートしました。労働組合の力はすごい!最近解決した患者さんの食事の配食(お茶せり含む)ですが、過去を見れば配食で10数年回交してました……(KU)